

松葉屋通信

matubaya
-tushin
vol.01
2004.5.10

発行■松葉屋家具店



創

松葉屋は
「本物家具屋」を
目指します

松葉屋善五郎

★では「本物家具」とは何でしょう。

- 1 「使う」という機能が100%達成され、さらに、美しさと強度を兼ね備えた形・素材・仕上げであること。
- 2 「木」が森で生きてきた時間と同じだけ、例えば樹齢百年であれば百年、二百年であれば二百年、使い続けることができること。
- 3 いつまでも飽くこと無く、何世

代に渡り愛着を持ち続けられる家具であること。

4 製作にあたっては、環境負荷をできるだけ少なくすること。

5 自然素材（木材・塗料・接着剤など）に徹底してこだわり、人の体に影響の少ないもの。

6 メンテナンス、修理ができる家具屋であること。

7 「何に使うか、どう使うか」といった使用目的、使う人や家族の好みに合わせて作られたものであること。

8 予算に合った、適正（常識的）な価格であること。

9 そして、「使い手」「作り手」「売り手」の顔が見える、信頼のおける（安心な）家具であること。

これらは、本来であれば「あたり

まえ」のことなのかも知れませんが、この「あたりまえ」を行うことが、実は一番大変であることを、松葉屋は実感しています。

「手をかけ」「目を配り」「時間をかけて」「有り体」に仕上げる。

この作業のどこにも「ごまかし」のないように「丁寧」に進めていきたい。そうやって作り上げられた家具が百年を経て、使い手の方に満足感や愛着を持っていただけな時にはじめて「百年家具（本物家具）」ということができるのです。

松葉屋は、

いつでも、お客さまと共に「本物家具」を作り続けていきたい。ですから、私たちの持っている（家具について）の情報を、できるだけ発信したいと思いました。

「家具」の居場所はもちろん「家（暮らし）」の中にあります。

それらについて「松葉屋」からの「通信」を、どうぞ、お受け取りください。

店主敬白

家具のこと、さらに知りたい方に、
家具屋より詳しくなれる「小冊子」を差し上げます。

ご希望の小冊子名をご記入の上、

下記までご請求ください。



fax 026-237-4558

フリーダイヤル 0120-55-2346

E-mail since1833@matubaya.net



- 「木の小冊子」
- 「今さら聞けない、家具の基礎知識」
- 「HANS WEGNER ON DESIGN」
- 「北欧の椅子について」

Matubaya
Book
Shelf

select・1
飛田和緒 著



飛田和緒の
10年もの

日々の暮らしや、それらを取り
囲む道具達に、愛しさを込めて著
わした一冊。中ほどに「松葉屋」
も紹介されています。(探してみ
てくださいね。)

東の土蔵、中庭入ル
生活道具の店オープン

4月24日(土)、松葉屋に生活道
具のお店がオープンしました。

日本各地の作家さんが作る、生活
を楽しくするもの、なごむもの。
それから北欧のベーシックなうつわ
など。「こちよい」と、感じられ
るような「モノ」を集めました。
お手にとつて、見てください。

「道具たちの体温や、
肌触り」を楽しみに、
ご来店いただけまし
たら幸いです。



じゃがいもとスプラウトのサラダ
potato sprout salad



ホクホクの定番ポテトを
いろんな味のシャキシャキ
スプラウトのサラダ。



matubaya
kitchen

recipe
(4人分)

じゃがいも	4コ
オリーブオイル	大さじ2
セロリ	1本
スプラウト (好みのものを)	2~4パック
粒マスタード	適量
塩・コショウ	適量
レモン	好みで

- 1.皮のままじゃがいもを塩ゆでしたら四つ切りにし、熱いうちに、オリーブオイルをまわしかける。
- 2.千切りにしたセロリと、根を切りおとしたスプラウト、粒マスタードを加え、全体的に混ぜ合わせる。
- 3.塩、コショウで味を整える。
- 4.好みでレモンをしぼって。